

すれば、思いやりの心が育ち、自ら進んで実践できる子どもを育成することができるのである。

具体仮説1〜3 (略)

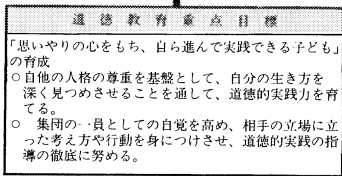
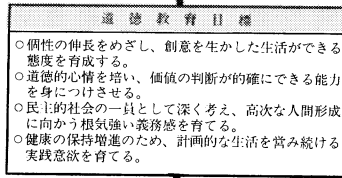
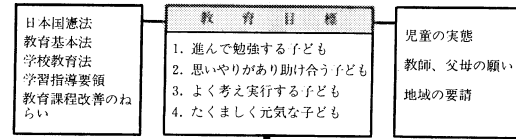
四 研究組織 (略)

五 研究実践の概要

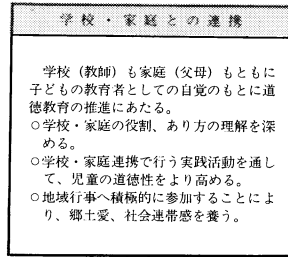
(一) 道徳教育全体計画と年間指導計画の見直し

① 道徳教育全体計画の見直し
道徳教育全体計画(資料1)を他領域との関連から考慮した計画とし、各

資料1 道徳教育全体計画



重点指導内容		
<低学年>	<中学年>	<高学年>
生命尊重		
誠実、明朗	思慮、反省	勇気、克己心、不撓不屈
礼儀		
公德心、規則の尊重、権利義務		
思いやり、親切		



② 指導内容の重点化
領域の目標や内容を道徳教育の観点から検討し、道徳教育の機能を明らかにしてきた。また、道徳の授業の基盤となる「好ましい信頼関係の育成」を図るための学級づくりを力を入れてきた。

